

調整池ダム

REGULATING DAM

「愛知用水の胃袋」とよばれる調整池ダムは、幹線水路のほぼ中央、東郷村諸輪に建設される。水路の落差を利用して 900万トン を貯水するが、「胃袋」とよばれるにふさわしく、木曾川の余水を数回にわたって利用調整し（溝水可能量 260万 m^3 /日）、かつ牧尾ダムの水をさらに有効に利用するという、愛知用水にとってはきわめて重要な役割をもつダムである。着工は34年11月、完成は36年12月となっているが、今冬は好天続きだったので予定以上の進捗を示し、今後も天候が順調であれば完成はかなり早められる見込みである。また完成前に貯水するので、来年夏の全線通水には少しも支障はない。

■ 調整池ダムの特色 ■

1. 基礎岩盤のない粘土と砂レキの互層の上にアースダムを築造する日本では最初の注目すべき工事であること。
2. ダムの型式を傾斜式コアタイプとし、ダム構造の上に各種の新しい設計を採用したこと。
3. 工事中および完成後における基礎地盤や堤体内部の変化状況を測定するため、各種の計器や装置などを数多く設置したこと。
4. 堤体積 105万 m^3 のダムをわずか25カ月で完成するという工期のおどろくべき短縮のため、70台にのぼる重機械群を最大限に利用すること。

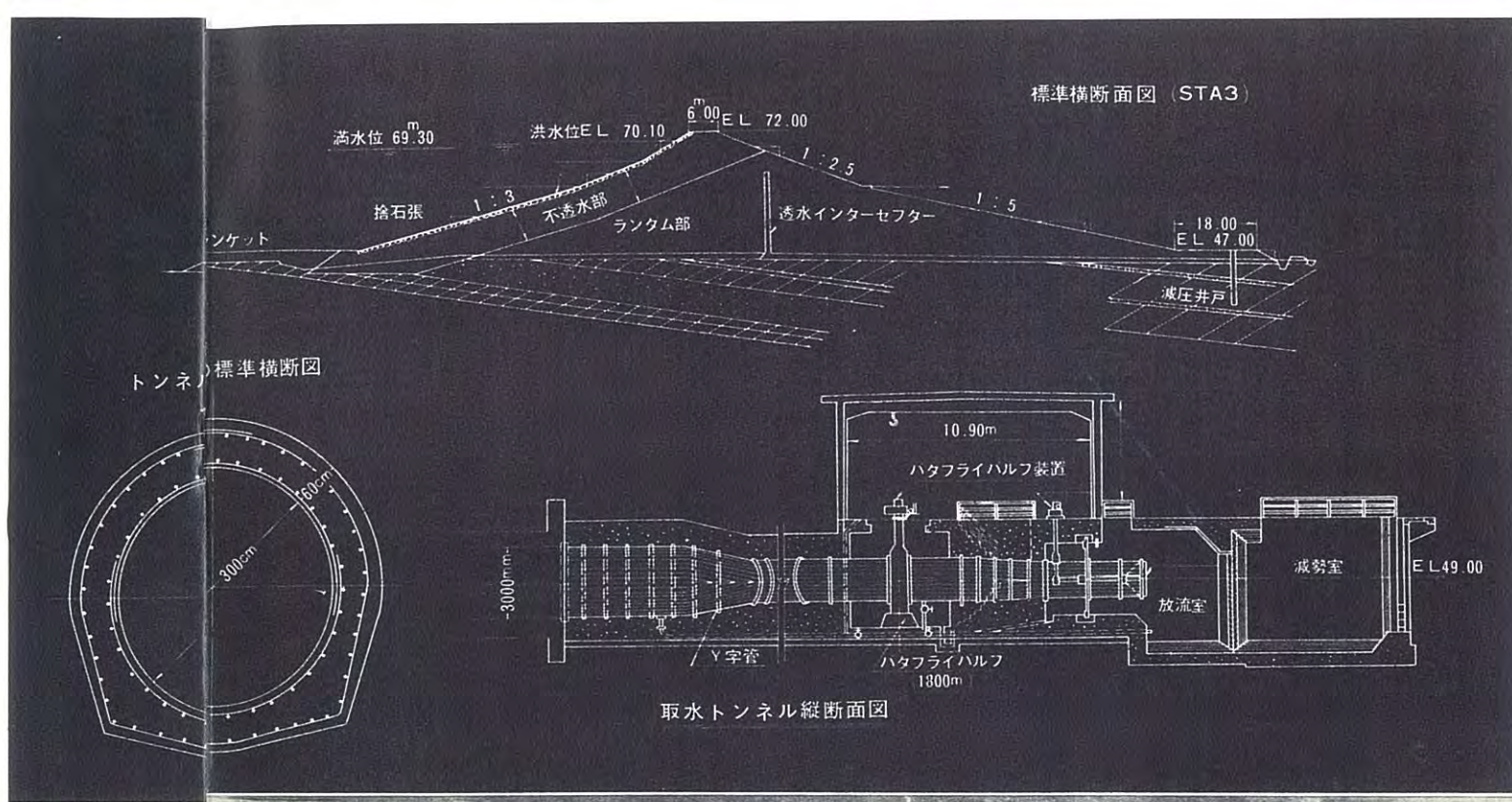
調整池ダム諸元

調整池	位置	愛知県愛知郡東郷村字諸輪	
	流域面積	232ha	
	満水面積	97ha	
	満水位	標高 69m30	
	流入水量	28 m^3 /sec (洪水時30 m^3 /sec)	
	放水量	22 m^3 /sec (洪水時30 m^3 /sec)	
	総貯水量	9,000,000 m^3	
有効貯水量	8,600,000 m^3		
ダム	型式	傾斜コア式アースダム	
	堤高	31m90	
	堤頂長	965m	
	堤頂幅	6m	
取水設備	堤体積	1,047,660 m^3	
	圧力トンネル	延長	178m38 (直径3m円形断面)
	バタフライバルブ	直径	1,800mm 2台
	ハウエルバンパー	直径	1,500mm 2台 (半水中式)

活躍する最新の重機械群



浜口総裁のダム定礎



上空からみた調整池ダムサイト (①ダムサイト、②土取場、③工事用道路)



副堤上からみた取水塔と本堤

三好池ダム

MIYOSHI DAM

32年11月5日着工した三好池ダム（旧曲り池ダム）は、34年2月20日わずか15カ月の工期で予定どおりみごとに完成した。愛知用水としては着工第1号にして完成第1号という記念すべき工事でもあるので、3月18日ダム現場で完成祝賀祭が行なわれた。

この三好池ダムは、全面的な機械化施工によって、工事をスピードアップし、しかも工事中も600haにのぼる受益地域に対し、用水の補給を欠かさなかった点に特色がある。すでに昨年より受益地に潤沢なかんがい水を供給して、地元の期待にみごとにこたえている。

（次ページの写真は当日の祝賀ぶり）

■ 申し分ない上天気、盛りだくさんの祝賀行事を楽しみに老若男女の列が菜の花咲く道を延々と続く



■ ダムといい取水塔といい、まったく美しい出来栄え、「これで水がいっぱいになればいい観光地になるナモ」と目を見はる地元の人々。



■ ダム完成を祝って3尾のヒゴイ、マゴイが池に放たれた。



■ 祝賀行事の一つである餅まき、このほか地元団体対抗の池を一風するマラソンも行なわれた。



■ 餅まきのヤグラの周囲を埋めた地元の人々。



■ カメラブームに乗ってご多分にもれぬモデル撮影会。取水塔をバックに天狗連の張り切ること。

